



小鳥用飼育ケージ

Bird Cabin

バードキャビン

バードキャビン 37
バードキャビン 37 LT 共通

取扱説明書

※ 共通説明書となります。
説明図はバードキャビン37を使用しています。

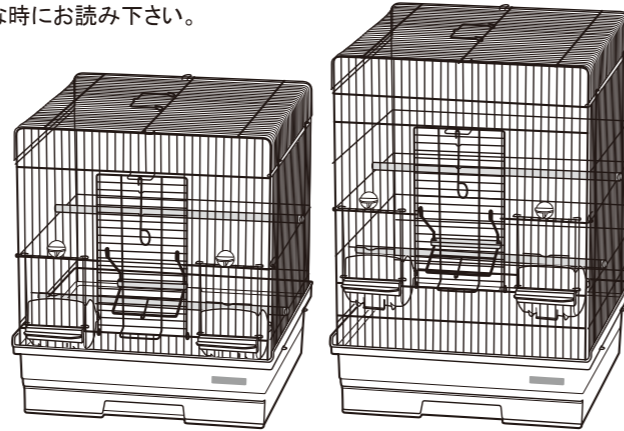
この度は、当社製品をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
当社製品をご使用になる人、飼育する生き物、また別の人や品物への損害を未然に防ぐ為に
次の説明をよく読んで正しくご使用下さい。この説明書は、大切に保管して頂き必要な時にお読み下さい。

⚠️ ご注意

ご使用になる前に必ずお読み下さい。

- 本品は小型の小鳥（文鳥等の小型フィンチ、セキセイインコ等の小型インコ、コザクラインコ・オカメインコ等の中型インコ）の室内用飼育ケージです。それ以外の目的及び他の生き物には使用しないで下さい。
- まず、内容部品を取り出し、部品やケージワイヤーパネルの溶接部等に不具合（破損等）が無いか確認して下さい。また、樹脂成型品についても成型不良や破損（割れ等）が無いか確認して下さい。内容確認時や組み立て時の破損、または不良箇所が見つかりましたら、新しい部品とお取替えをさせていただきます。
- 本品は、平坦で床面がしっかりと加重を支えられる場所に設置するようにして下さい。
- 本品中にはメタル（金属）パーツや樹脂成型パーツが含まれています。組み立てや取り扱いは、手や指等を傷つけないよう、それらのパーツを破損させないように、慎重・丁寧に扱って下さい。
- 小さなお子様やペットが本品で遊んだり、スノコやトレイ、ワイヤーの隙間等に手や指等、体の一部を入れたりしないように注意して下さい。破損やケガをする恐れがあります。
- 直射日光の当たる場所や空調（暖房器具等）の風が直接当たる場所、火気の近くに置かないで下さい。生き物の死亡や火事、本体の変形や破損の恐れがあります。
- 組み立て後、本品内へ生き物を放す前に、必ずもう一度、各ワイヤー、樹脂成型品に異常が無いか、ロック部等が正しく機能するか確認して下さい。
- 個体によっては扉部のロック等の開け方を覚えて、自分でロックを外してしまう場合があります。そのような恐れがある場合は、別途ナスカン等で確実にロックできるように対応して下さい。
- 本品の設置場所周辺（床・壁等）が小鳥の排泄物等で汚れないように予め保護してご使用下さい。
- ベースにトレイを奥までしっかりと収めるようにして下さい。
- 本品を持ち上げて移動させる時は、ワイヤーパネル部を持たずに下部（ベースカバー）より持ち上げて移動させて下さい。乱暴に移動させると、本体の破損や中の生き物のケガの要因となる場合があります。また、上から押さえつける等、人の体重をかけないようにして下さい。
- 掃除の際は、70℃以上のお湯は使用しないで下さい。樹脂が変形する恐れがあります。また、シンナーやベンジンなどは使用しないで下さい。
- 生き物は、種類や体格（体重やサイズ、若鳥や成体等）性質には個体差があります。また、予測不可能な行動を起こす事があります。飼育者の方（管理者）は生き物の行動や性質をよく理解して、十分に観察し本品の使用範囲を超えそうな場合や異常や危険を感じた場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- 飼育時における事故等に関しましては責任を負いかねますので予めご了承下さい。

飼育ケージは、100%安全な空間を提供できる物ではありません。
生き物は成長によって大きさが変化したり、四季や周囲の状況を通して様々な環境が変化します。
大切なペットの安全な飼育環境を常に保てるように充分な配慮をお願い致します。



バードキャビン 37 バードキャビン 37 LT

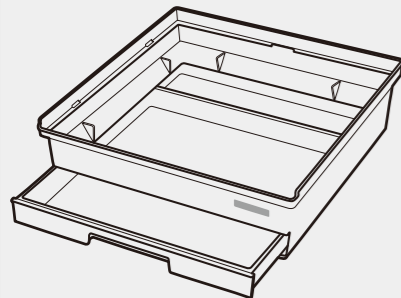
品目	小鳥用室内飼育ケージ	
対象生体	文鳥等の小型フィンチ、セキセイインコ等の小型インコ、コザクラインコ、オカメインコ等の中型インコ（成鳥）	
生産国	中国 (MADE IN CHINA)	
主な材質	PS PP樹脂 スチール	
販売者	株式会社 三晃商会 〒562-0035 大阪府箕面市船場東2-3-54 TEL:072-728-3001 www.sanko-wild.com	

	製品サイズ（組み立て時） ※外寸	製品重量 ※パーツ含む
バードキャビン 37	幅385 x 奥行405 x 高さ435mm	約 3.0 kg
バードキャビン 37 LT	幅385 x 奥行405 x 高さ535mm	約 3.3 kg

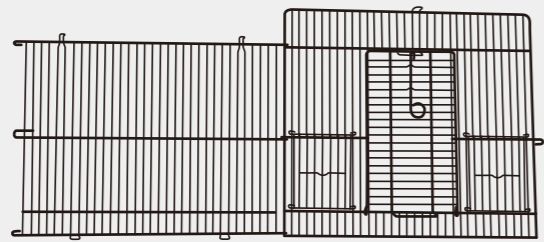
202310

◎ パーツリストと照らし合わせて、梱包中身の各パーツを確認して下さい。

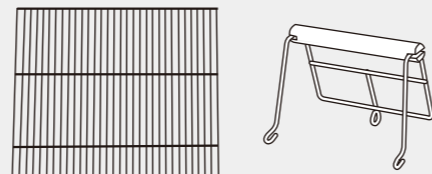
※ 説明図はバードキャビン37を使用しています。



ベースカバー + トレイ

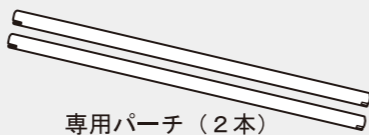


前面 + 左側面パネル

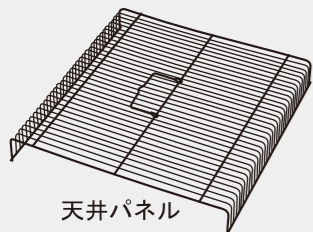


スノコ

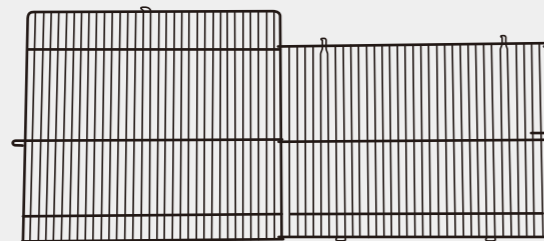
手乗り扉用パーチ



専用パーチ（2本）



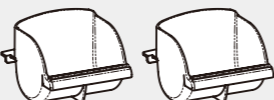
天井パネル



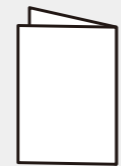
背面 + 右側面パネル



スライド扉用ロック（2個）



透明樹脂食器（2個）

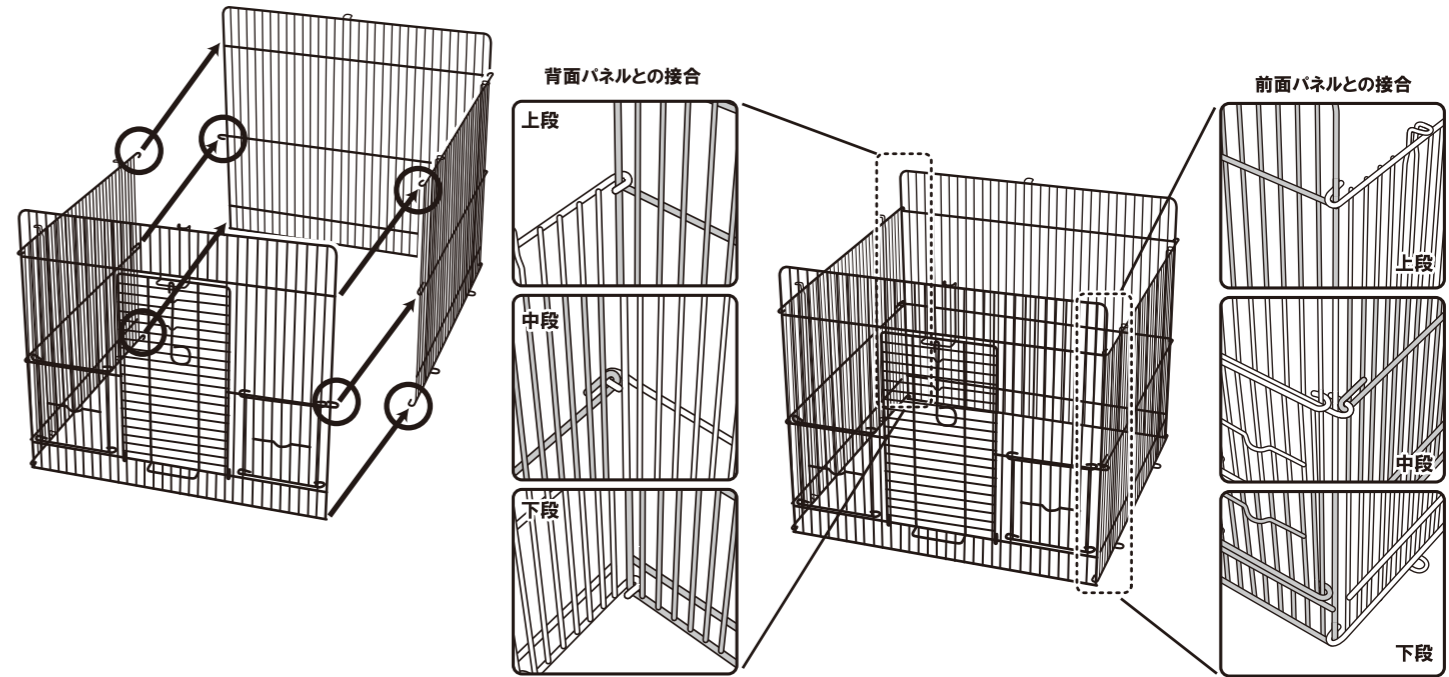


取扱説明書

■ 組み立て方 ① : ケージワイヤーの組み立て

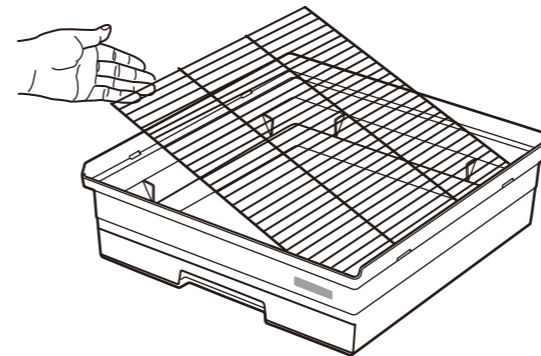
※必ず、平らな場所で組み立てて下さい。

- ① 「前面パネル+左側面パネル」と「背面+右側面パネル」をそれぞれ直角になるように広げて、下図のように向かい合わせて置き、上段・中段・下段のフック（Oマーク部）を対面するひっかけ部に引っかけて接合して下さい。

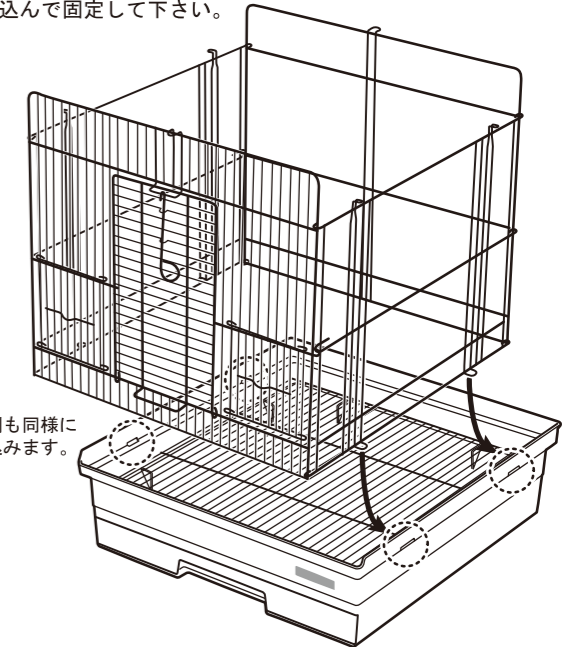


■ 組み立て方 ② : ケージとベースカバーを組み合わせる

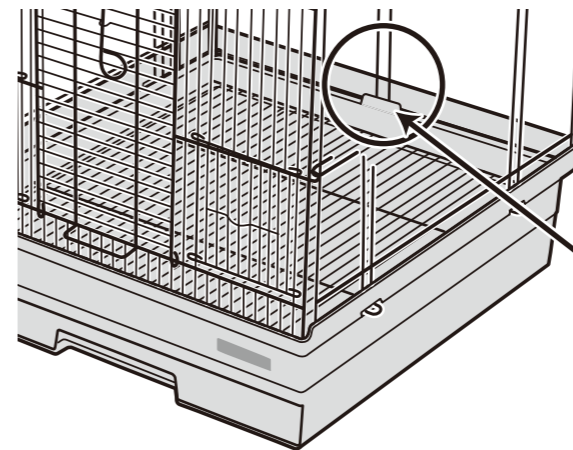
- ① まず、ベースカバー内側にスノコをそっと置きます。



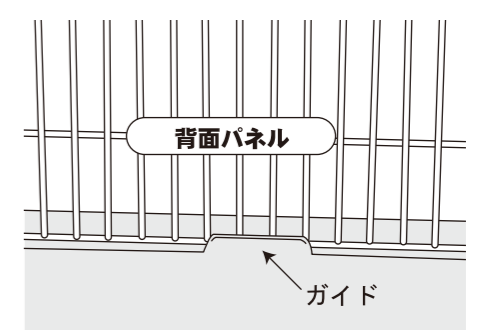
- ② 次に、組み立て方①で組み立てたケージワイヤーを、下図のように左右の側面パネルの下にある凸部をベースカバーの穴に内側から差し込んで固定して下さい。



※反対側も同様に差し込みます。



ベースカバー後方の縁に、ワイヤー受けのガイドがありますので、下図のようにワイヤーパネルをガイドに合わせて設置して下さい。

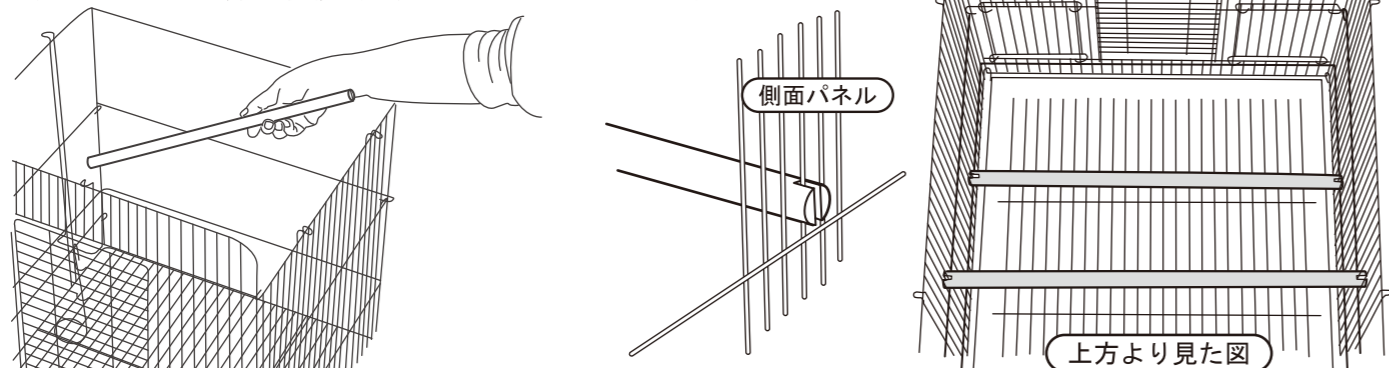


背面パネル

ガイド

■ 組み立て方③：専用パッチの取り付け

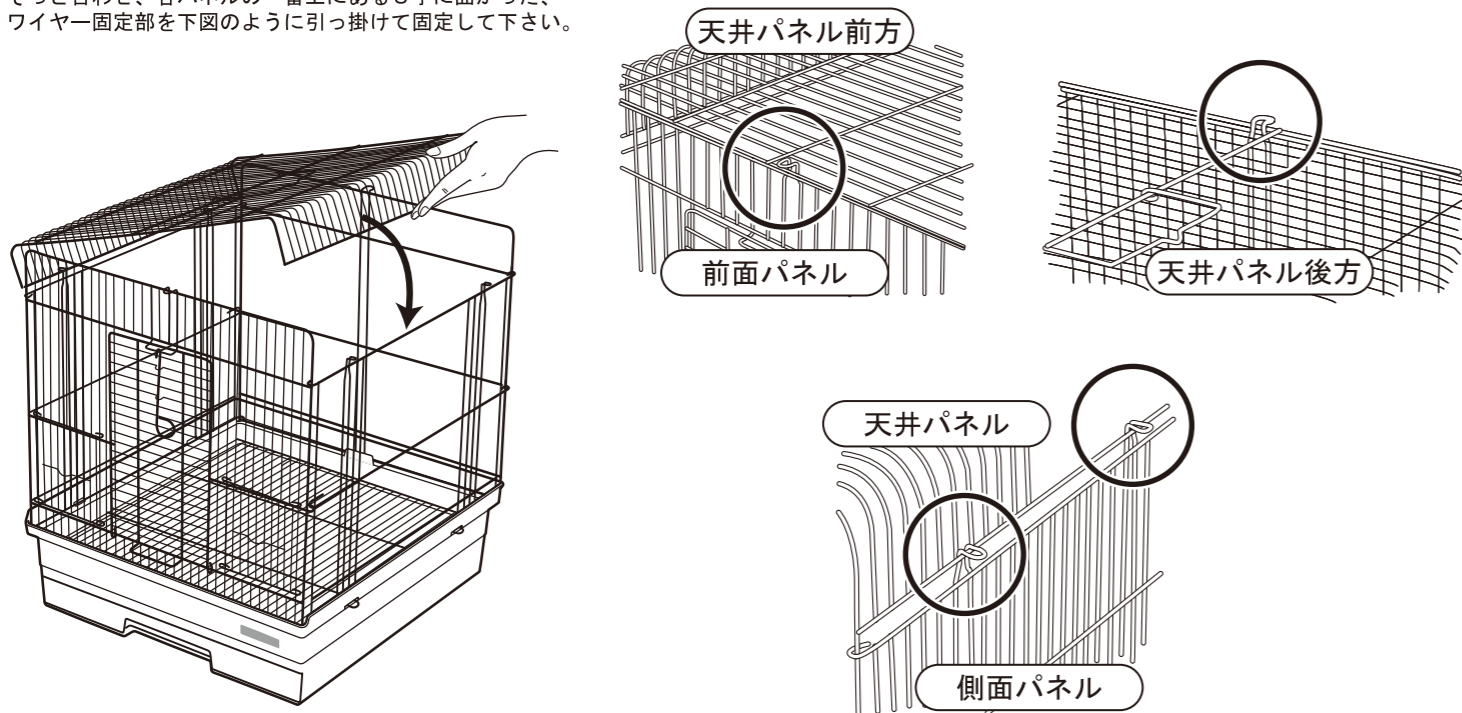
専用パッチの両端の溝を両側面パネルの縦ワイヤーに合わせて飼育する小鳥に合った適度な位置(高さ)へ、左右平行にセットして下さい。



※ 左右が平行になるように取り付けして下さい。
 ※ 取り付け位置は、飼育する小鳥の種類や性格、用品のレイアウトによって調整して下さい。

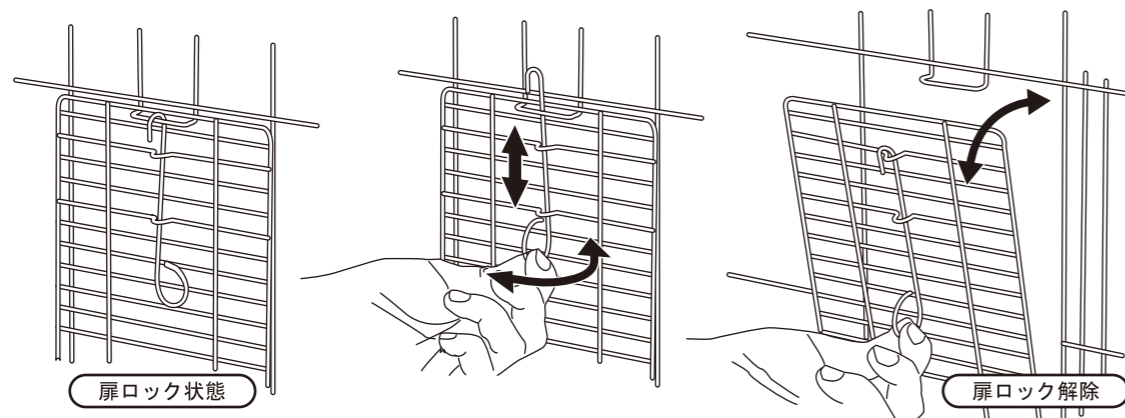
■ 組み立て方④：天井パネルの取り付け

組み立てたケージパネルの上に、天井パネルをかぶせるようにそっと合わせ、各パネルの一番上にあるU字に曲がった、ワイヤー固定部を下図のように引っ掛けて固定して下さい。



■ 組み立て方⑤：手乗り用扉の開閉について

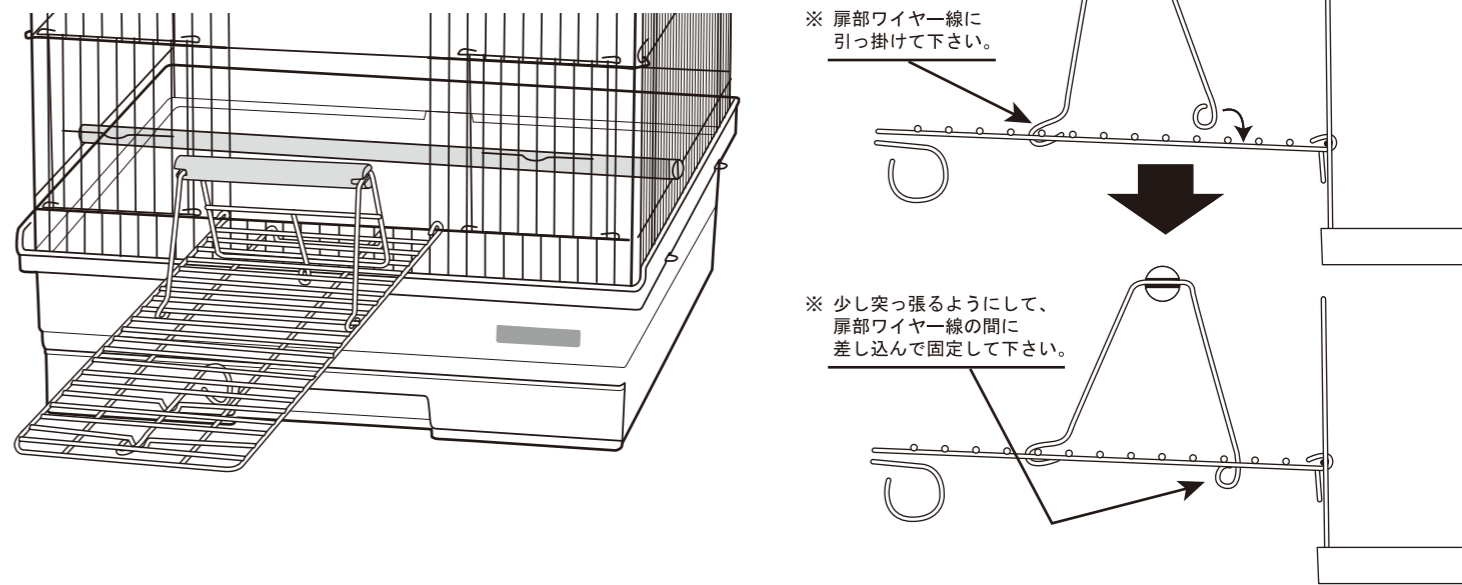
前面パネル中央にある、手乗り用扉の手持ちフックを持ち、一旦上方へずらしながら、90度回転させてフックの引っ掛けを外し、再度下方へスライドさせると扉ロックが解除できます。



※ 小鳥によっては、開け方を覚えてしまう場合があります。そのような時は、ナスカン等で確実にロック出来るように対応して下さい。また、扉の開閉時に飼育している小鳥が逃げ出さないように注意して下さい。

■ 組み立て方⑥：手乗り扉用パッチの取り付け

手乗り扉用パッチを、前面パネル中央の手乗り扉のケージ内側に図のように取り付けして下さい。



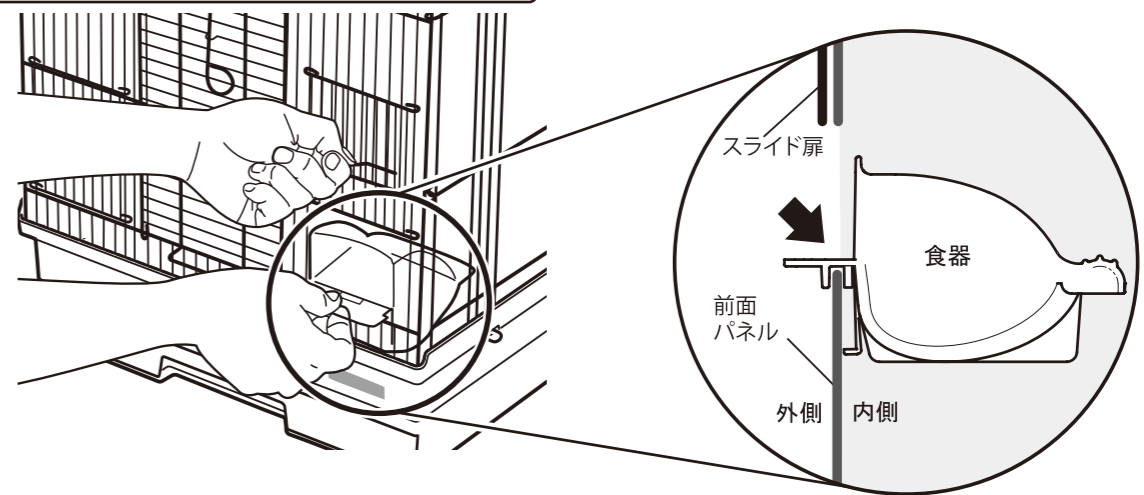
※ 扉部ワイヤー線に引っ掛けて下さい。

※ 少し突っ張るようにして、扉部ワイヤー線の間差し込んで固定して下さい。

■ 組み立て方⑦：食器の取り付け

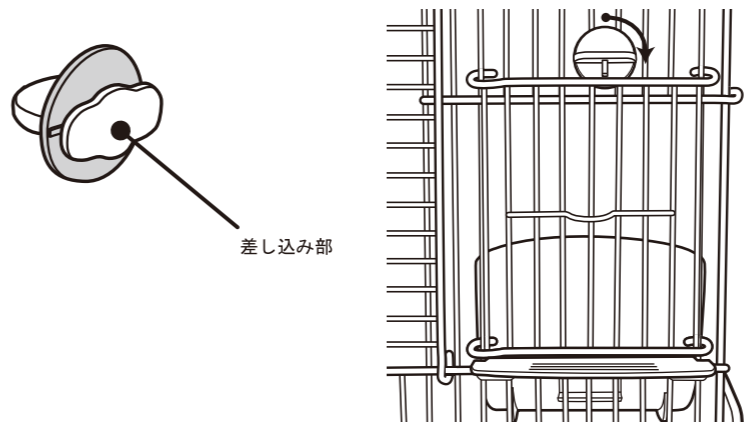
前面パネルの左右にあるスライド扉を上へスライドさせて開け、食器を図のように取り付けして下さい。

※ 取り付けたら、再度スライド扉を下ろして閉めて下さい。不意に開いてしまう事が無いように、スライド扉には必ずスライド扉用ロックを使用して下さい。



■ 組み立て方⑧：スライド扉用ロックの使い方

ロックの裏側にある差し込み部を、スライド扉の上のケージワイヤーの間に差し込んで、そのままひねって固定します。



※ 扉が閉じている状態で、ロックがスライド扉に触れる位置に固定します。

組み立ての確認とチェック
 再度、各取り付け接合部、引っ掛け部やロック部等が、確実にセット出来ているか、また正常に作動するか確認してから、小鳥(生き物)をケージ内に放すようにして下さい。